



ききょうだより

令和2年
10月26日
第7号

教育目標『磨き 輝き 未来をともに拓く』

校長 山田 和弘

夢・たくましさがあふれる学校を目指して ～自分たちで暮らしをよくする 児童会活動～

美山小学校では、5・6年生の全員が委員会に所属し、当番活動に取り組んでいます。この活動に加え、委員で願いを出し合って新たな企画を考え、全校を動かしています。

- 執行委員会：『あいさつを広げる』
- 図書委員会：『必読図書を読みきる』
- 広報委員会：『全校が聞きやすい放送をする』
- 保健委員会：『歯を 静かに、時間いっぱいみがく』
- 給食委員会：『安全な給食の時間にする』
- 体育委員会：『静かに、時間いっぱいいそうじをする』

前期終了を控え、委員長・副委員長に取材をしました。



「あいさつする人（礼をする人）が増えた。特に、低学年が笑顔で大きな声で出来るようになった。」「いろんな分野の本を借りる人が増えた。」「全校の人に聞きやすく、わかりやすい放送ができた。」「全校が静かに時間をかけて歯をみがけるようになった。」「給食を安全に気を付けて食べることができた。」「静かに、時間いっぱい掃除ができるようになった。今までできなかったところもきれいにできた。」

感染症予防対策により、様々な教育活動に制限がかかる中、自分たちで暮らしをよくする児童会活動を合言葉に、美山小学校のたくましいリーダー・サブリーダーである6年生、5年生が活躍しています！

やりぬく子「よりよい生活を創り出す」 ～美しい心に満ちあふれた美山小学校を目指して～

「家庭では、ゲーム機・携帯（スマホ）・タブレット・パソコンなどの情報端末を、ルールやマナー・使用する時間などの約束を作って使わせている。」（令和2年7月 美山小保護者アンケートより）

あてはまる	59人 (34%)	ややあてはまる	82人 (47%)
どちらと言えばあてはまらない	29人 (17%)	あてはまらない	4人 (2%)

美山小学校は、「美しい学校（美しい心をもった子供たち）」を目指しています。玄関のげた箱の靴そろえ、教室・廊下の整理整頓は伝統となりつつあります。トイレのスリッパ揃えも、意識する子が多くなってきました。『静かに、時間いっぱい』を合言葉にして、体育委員会が企画した掃除の取組により、校舎内もさらに美しくなってきました。

「美しい心がいっぱいの美山小学校の子供たち」と言いたいところですが、少し気になる姿があります。それは、

- ★相手を傷つける言葉、悲しませる言葉を平然と使っていること
- ★スマホ、タブレット、ゲーム、テレビなどを遅くまでやり、疲れている子がいること、また、ゲームや各種SNSの中で使っている恐ろしい言葉を学校や家庭において使っていることです。



情報機器を使う際の約束、気を付けることについては、夏休み前に“情報モラル指導”を3～6年生対象に行いました。1・2年生は、担任より、約束を決めて使うことの大切さを伝えました。しかし、上のアンケートの結果にもあるように、学校と家庭が同じ意識で子供を指導しているとは言えない状況です。岐阜県では、家族の会話を大切にする『話そう！語ろう！わが家の約束』運動に取り組んでいます。

今一度、お子さんと情報機器の使用、情報モラルについて話し合い、家庭での約束を再確認していただきたいと思います。また、ゲームやSNS上で使われている不適切な言葉について、日常生活の中でお子さんが使っていないか、相手を思いやる言葉を使っているかどうか、耳を傾けてください。

学校におきましては、今月の13日に全校朝会を行い、生徒指導主事・校長よりこの話題を投げかけました。子供たち一人一人が、自身の姿を振り返り、自分の力でよりよい生活を創り出していけるよう、私たち大人が見届け・声掛け・励ましを行っていきましょう。ご理解・ご協力、よろしくお願ひいたします。